図書館でおすすめする子どもの本

小学校 1・2年生向け

注文の多い料理店



宮沢賢治／作
和田誠／絵
岩崎書店

鉄砲をかついで犬をつれた、ふたりのわかい紳士が、山おくで見つけたレストランで、料理を注文しようとすると…。

エルマーのぼうけん



ルース・スタイルス・ガネット／さく
ルース・クリスマン・ガネット／え
わたなべしげお／やく
福音館書店

ある雨の日、としをとったのらねこが、エルマーにどうぶつ島のかわいそうなりゅうを、たすけてほしいとたのみにきました。

ちいさいおうち



バージニア・リー・バートン／文・絵
石井桃子／訳
岩波書店

むかし、いなかのしずかなところに、ちいさいおうちがありました。ときがたつと、まわりのけしきもかわりました。それをちいさいおうちは、じっとみていました。

あおい目のこねこ



エゴン・マチーセン／さく・え
せたていじ／やく
福音館書店

むかし、青い目のげんきなこねこがいました。こねこはねずみのくにをみつけに、たびにでましたが・・・。

むかしむかしとらとねこは…
中国のむかし話より



大島英太郎／文・絵
福音館書店

むかしむかし、とらとねこはやまのなかでくらしていました。そのころとらは、とてものろまで、えものをとるのがへたでした。

のはらクラブのこどもたち



たかどのほうこ／さく
理論社

のはらのすきなおばさんは、ある日たのしいことをおもいつきました。「そうだ、こどもたちをあつめて、みんなでのはらをさんぽしよう。

かえるのほんや



やぎたみこ／作・絵
PHP研究所

ほんやさんのうらにわにつながる、もりの中にある「かえるのほんや」は、おはなしかいやえほんをてづくりしたり、とてもたのしそうです。

はっこう
地球は微生物でいっぱい



小川忠博／写真・文
横山和成／監修
あすなろ書房

どうして小麦粉がふわふわのパンに、蒸した大豆が納豆になるのはなぜ？なんでオナラは出るの？地球は微生物でいっぱいです。

わたし、くわがた



得田之久／ぶん
たかはしきよし／え
福音館書店

くわがたのめすには、おおきなあごはありません。しかし小さなめすのあごは、ちからがつよく、たまごをうむときにとてもやくにたちます。

ものぐさトミー



ペーン・デュボア／文・絵
松岡享子／訳
岩波書店

トミー・ナマケンボは、電気じかけの家にすんでいます。きがえも食事も、生活のすべてが自動です。ある日停電になってしまい・・・。

草のふえをならしたら



林原玉枝／作
竹上妙／画
福音館書店

おかあさんと、まこちゃんは、はっぱをくるりとまいてふえをつくりました。ならしてみると、くすのきのしげみから、きじばとがあらわれて…。

だれもしらない小さな家



エリナー・クライマー／作
小宮由／訳
佐竹美保／絵
岩波書店

大きなマンションにはさまれた、だれもしらない小さなおうち。女の子たちのごっこあそびから生まれかわり・・・。

くまのピエール



イブ・スパング・オルセン／作
菱木晃子／訳
こぐま社

ピエールはスティーヌのぬいぐるみ。いつもおかしなハプニングを巻きおこします。

お山のライチョウ



戸塚学／写真・文
小宮輝之／監修
偕成社

日本には、高い山にだけすむ、ライチョウという鳥がいる。地球温暖化により、食べ物がなくなり、ライチョウのすむ場所がなくなってしまうかもしれない。